

みずほCustomer Desk Report 2017/10/27 号(As of 2017/10/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.55
TKY 9:00AM	113.57	1.1820	134.24	0.9889	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	114.08	1.1837	134.49	0.9979	1.3276	0.7708
SYD-NY Low	113.34	1.1641	132.68	0.9878	1.3278	0.7720
NY 5:00 PM	113.99	1.1650	132.83	0.9977	1.3147	0.7656
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		7.77/8.115	Δ 25RR	0.700	Yen Call Over	
NY DOW	23,400.86	71.40	債券市場	日本2年債	-0.1430	▲0.8bp
NASDAQ	6,556.77	▲7.12		日本10年債	0.0700	-
S&P	2,560.40	3.25		米国2年債	1.6149	2.0bp
日経平均	21,739.78	32.16		米国5年債	2.0777	3.4bp
TOPIX	1,753.90	2.47		米国10年債	2.4609	2.9bp
シコ日経先物	21,875.00	140.00		独10年債	0.4150	▲6.7bp
ロンドンFT	7,486.50	39.29		英10年債	1.3840	▲2.0bp
DAX	13,133.28	179.87		豪10年債	2.7530	▲0.6bp
ハンセン指数	28,202.38	▲100.51	為替市況	USD/CNH	6.6535	0.0158
上海総合	3,407.57	10.67		ドルインデックス	94.64	0.93
USDJPY 3M Vol	8.55	▲0.04%	商品市況	CRB指数	185.935	0.53
USDJPY 6M Vol	9.13	▲0.03%		NY金	1,269.60	▲9.40
EURJPY 3M Vol	7.81	▲0.11%		WTI	52.64	0.46
EURJPY 6M Vol	9.02	▲0.09%		Dubai Spot	56.28	0.25

東京	東京時間のドル円は113.57レベルでオープン。日経平均株価が寄り付き後に上昇する中、東京時間高値113.71まで上昇。しかし北朝鮮高官から先月同国外相が太平洋上で水爆実験を行う可能性を示唆したことについて、文字通り受け取るべきとの認識を示したことで、地政学リスクの高まりからドル円は113.37まで反落。その後、113円台半ばまでやや値を戻すも、午後に入ると米債利回りが低下したことからドル円も安値113.34まで下落。引けにかけてECB理事会を控えていることから動意の欠ける展開となり、113円台半ばで狭いレンジでの推移、113.57レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は底堅く推移。ロンドン時間は113.57レベルでオープン。ECB理事会は中銀預金金利をマイナス0.40%、主要政策金利は0.00%に据置き、現在600億ユーロとしている債券購入は2018年1月から9月末までの延長を決定、債券購入額は月額300億ユーロに縮小した。大方の予想通りであったものの、声明文では必要があればAPPの規模又は期間を拡大、延長するとされたことがハト派と捉えられ、ユーロドルの下落でドル買いの展開となり、ドル円は小幅上昇、113.75レベルで海外に渡った。一方ユーロドルは1.1824レベルでロンドン時間オープン。上記ECBの政策決定発表を受けて声明文がハト派と捉えられたことからロンドン時間安値1.1758まで下落し、1.1769レベルで海外に渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	ドル円は113.75レベルでNYオープン。NY時間午前、米新規失業保険申請件数が予想と大差ない結果となったことからドル円の反応は限定的。同時に開始されたドラギECB総裁の記者会見では、多数のメンバーがオープンメントを望んでいた事などが明らかになったことや今後の金融政策に関してハト派な姿勢が示されたことからユーロ売りドル買いが強まる展開にドル円は続伸。さらに米下院が僅差で上院の予算決議案を可決したこと、114.04まで上昇。午後に入ると州税、地方税控除に関する米下院共和党の会合がまとまらないまま終了したとの報道から一時113.71まで反落する場面も見られたが、米国債利回りが上昇する動きに高値114.08まで上昇し、113.99レベルで海外に渡った。一方、ユーロドルは1.1769レベルでNYオープン。ドラギ総裁の記者会見後にユーロドルは続落、さらに上記理由でドル買いが強まったことから短期的なサポートと見られていた1.1670付近を下抜け、約3ヶ月ぶり安値1.1641まで下落した。終盤に掛けてはイベントを終え閑散な取引が続き、1.1650レベルで海外に渡った。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
10月26日	8:50	日	対内・対外証券投資	-	-
	16:45	豪	テベルRBA総裁補 講演	-	-
	20:45	欧	ECB理事会 ECB主要政策金利	-	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	欧	ドラギECB総裁 記者会見	-	-
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	9月	0.3%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	233K
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	9月	0.0%

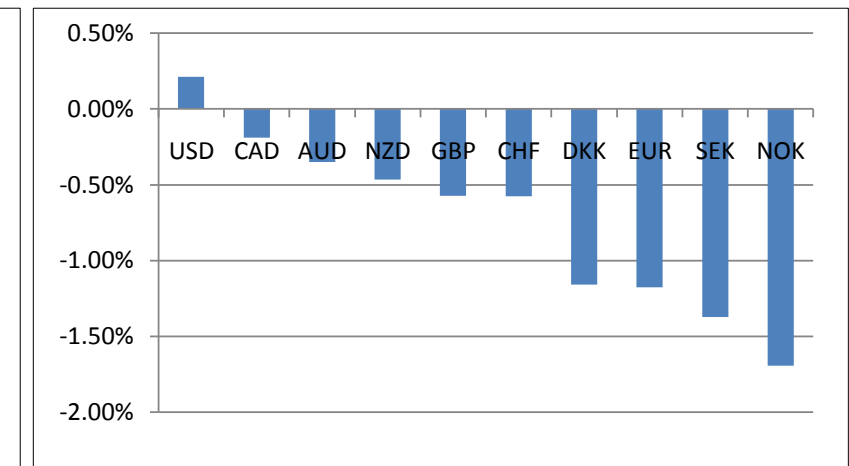
【本日の予定】

Date	Time	日	Event	予想	前回
10月27日	8:30	日	CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	9月	0.7%/0.7%/0.2%
	21:30	米	GDP(前期比年率)・速報	3Q	2.6%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド指数・確報	10月	100.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.30	1.1550-1.1700	132.00-133.50

【マーケット・インプレッション】

海外市場ではECB定例理事会の決定を受けてユーロ売り優勢となる中、ドル円は上昇。113円台半ばから114円丁度をブレイクした。本日の東京市場のドル円は週末につき足元積みあがったドル買いポジションの調整が考えられるも、来週は日米で中央銀行の政策決定会合を控えており、動意に乏しい展開となろう。米税制改革や次期FRB議長関連のヘッドライン等から一時的な反応も考えられるが、値幅は限定的か。